

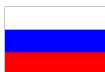
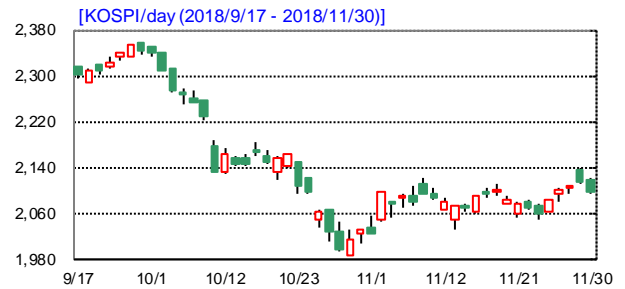


【韓国】 総合指数は週間で 1.9%高と反発、今週は利上げの影響にも注目

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で 1.9%高と反発。11月 29 日まで 4 日続伸し、29 日終値は 10 月 22 日以来の高値となった。アルゼンチンで開かれる 20 カ国・地域（G20）首脳会議に合わせた米中首脳会談で、貿易摩擦を巡る問題の解決に向けた合意が成立すると期待が投資家心理を支えた。パウエル米 FRB 議長が 28 日の講演で利上げの早期打ち止めを示唆したことも買い材料。30 日は 11 月の中国製造業 PMI が低下したことが嫌気されて反落し、3 日ぶりに 2100 ポイントを割り込んだ。個別では現代自動車や起亜自動車、製薬大手セルトリオンなどが上昇した。今週は、韓国銀行（中央銀行）が 11 月 30 日実施した利上げの影響が注目されそうだ。資金流出を抑制するため必要な措置だが、韓国景気が一段と冷え込むリスクをはらむ。

▼指数チャート

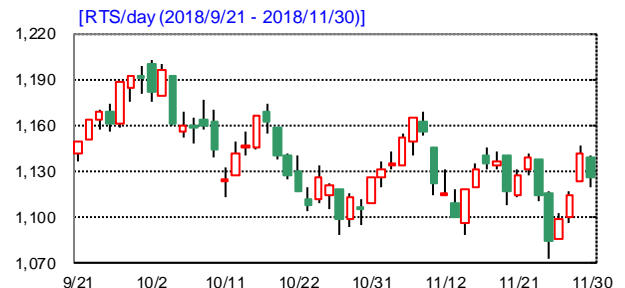


【ロシア】 RTS 指数は 1.1%高と反発、今週は米国の対中追加関税猶予で堅調か

先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で 1.1%高と反発。米中通商交渉の進展期待や、パウエル米 FRB 議長の利上げ打ち止め示唆を受けた新興国からの資金流出懸念の後退がロシア株の支援となった。週明け 26 日は、ウクライナとの緊張の高まりを受けて欧州からの追加制裁懸念が高まり、指数は 2%超下落してスタートしたが、その後は緊張緩和や原油相場の上昇を背景に 29 日まで 3 日続伸。米中通商交渉への期待が高まる中、主力銘柄の増配が好感されたほか、29 日にはパウエル米 FRB 議長が利上げ打ち止めを示唆したことで新興国からの資金流出懸念が後退。指数は約 3 週ぶりの高値で引けた。ただ、30 日は利益確定売りに押され、4 日ぶりに反落した。今週は米利上げ打ち止め観測や米国の対中追加関税の猶予を受けて堅調な展開か。

▼指数チャート



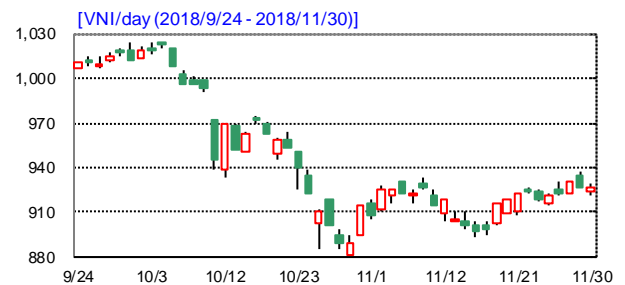
【ベトナム】 ベトナム指数は 0.9%高と続伸、今週は米利上げ打ち止め観測で堅調か

か

先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で 0.9%高と続伸。米中首脳会談への期待を背景におおむね堅調に推移した。週明け 26 日は週末に予定される米中首脳会談への期待感から小幅に上昇してスタート。クドロー米国家経済会議（NEC）委員長が「中国とあらゆるレベルで協議している」と発言したことで通商交渉への期待が高まり、米国株が堅調に推移したことも追い風に VN 指数は 28 日まで 3 日続伸した。29 日は金融株の一角やエネルギー株が下落して反落したものの、30 日は米利上げ打ち止め観測を受けた資金流出懸念の後退が支援となり、横ばいで終えた。個別では時価総額上位のベトナム・デイリー・プロダクツの好業績見通しが好感され、週間で 8.5%高と指数をけん引した。今週は米利上げ打ち止め観測や米中通商合意を受けて堅調か。

▼指数チャート

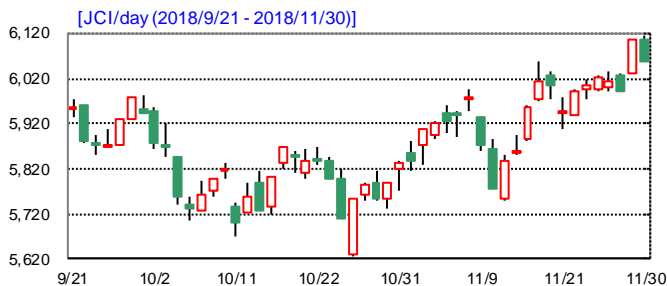


【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 0.8%高、米利上げペース減速予想を好感

ジャカルタ総合指数は週間で 0.8%高と反発。11 月月間では 3.8%高。先週は国内の重要イベントが少ない中、不安定な値動きが続いた。週初の 26 日は 3 営業日続伸してスタートしたが、27 日に反落すると、28 日は終値ベースで節目の 6000 ポイントを割り込んだ。一方、29 日は FRB のパウエル議長が前日の講演で、現在の政策金利が「中立金利」に近いと発言したことを受け、利上げペースが減速するとの見方が広がったことが好感されて、指数は終値で前日比 1.9%高と反発。ただ、勢いは続かず、30 日は金融株と素材関連株が売られ反落して取引を終えた。今週は 3 日発表の 11 月の CPI に対する市場の反応が焦点。

▼指数チャート

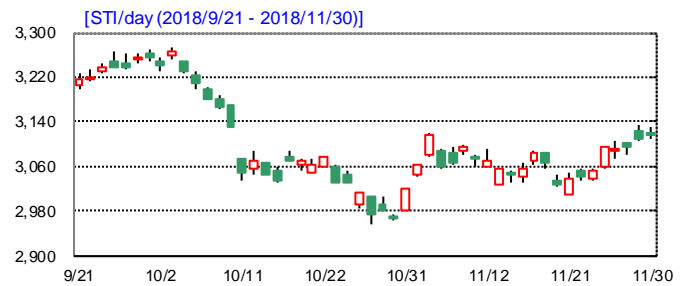


【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】スเตรツタイムズ指数は 2.1%高、今週は 11 月の製造業 PMI が焦点

スเตรツタイムズ指数は週間で 2.1%高と反発。11 月月間では 3.3%高。先週は総じて堅調な展開となった。26 日は 10 月の鉱工業生産が前年同月比 4.3%増と市場予想を上回ったことが好感され、指数は前営業日比 1.3%高と 4 日続伸。27 日は小幅に反落したが、28 日に買い戻されると、29 日は場中に一時、約 7 週間ぶりの高値を更新し、終値で 3100 ポイントを回復した。30 日は工業関連株と通信株が買われ、3 日続伸して引けている。今週は 3 日の取引終了後に 11 月の製造業 PMI が発表される予定で、前月の 51.9 を上回れば好材料。外部要因では週末に開催された米中首脳会談の内容が好感されそうだ。

▼指数チャート

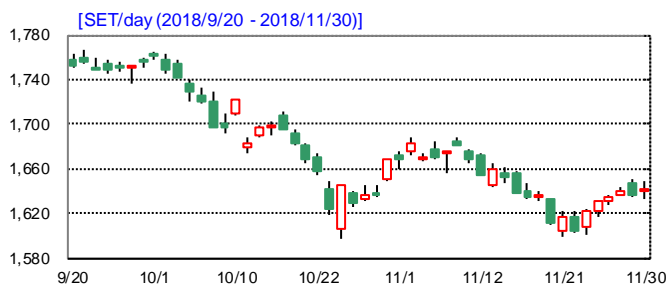


【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 1.2%高、今週は OPEC 総会での減産協議が焦点

SET 指数は週間で 1.2%高と 4 週ぶりに反発。11 月月間では 1.6%安。先週はおおむね堅調に推移した。週初の 26 日は金融株と不動産株が指数上昇をけん引。27 日は 10 月の鉱工業生産が前年同月比 4.1%増と市場予想から上振れしたことが好感されると、28 日は原油価格の上昇を受けて 4 営業日続伸した。その後、29 日は反動で下落したものの、30 日は反発して引けた。今週は 3 日発表の 11 月の CPI に対する市場の反応が注目される。外部要因では 6-7 日に開催される OPEC の定例総会で、12 月末が期限となっている協調減産の継続が合意され、原油が値上がりすれば好材料。5 日はラーマ 9 世誕生日のため休場。

▼指数チャート

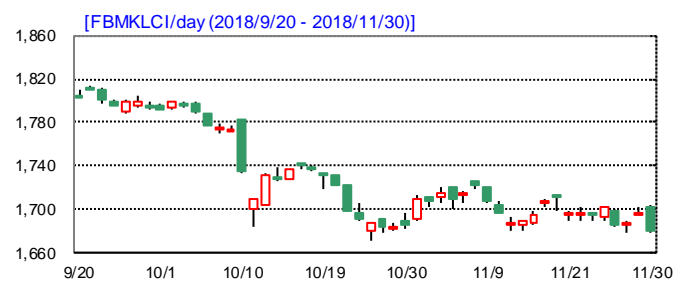


【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 0.9%安、ゲンティン・マレーシアが米企業提訴で下落

クアラルンプール総合指数は週間で 0.9%安と 4 週続落。11 月月間では 1.7%安。先週は週末の下落が響いた。週初の 26 日は引け際に買いが集中し、終値で 1700 ポイントを回復したが、27 日はゲンティン・マレーシアの株価が急落した影響などで指数は前日比 1.0%安と反落。同社は 27 日、テーマパーク建設契約の破棄を巡り、米フォックス・エンターテインメント・グループとウォルト・ディズニーを提訴したと発表した。指数は 28-29 日に続伸したが、30 日はパーム油価格の下落を受けてサイム・ダービーが売られ、前日比 1.0%安と反落して取引を終えた。今週は 5 日に 10 月の貿易統計が発表される予定。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があり、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。